

■乃木希典 陸軍軍人。戦場での失敗は多かったが、生き方が評価され、海軍の東郷平八郎とともに“聖将”と呼ばれた。

の生まれすけ

北斎没・・・1849＝ 江戸の毛利家上屋敷で、長府藩士の第三子に生まれる。幼名無人。

ペリー来航・1853＝ 4歳：

開国開港・・・1854＝ 5歳：弟(玉木正宜)が誕生。

五ヶ国条約・1858＝ 9歳：長府への帰国を命じられ、150日の閉門処分。

桜田門外変・1860＝11歳：

8月18日政変 1863＝14歳：長府の集童場に入學。元服し、源三と改名。吉田松陰に心服し、

禁門の変・・・1864＝15歳：家出して、伯父玉木文之進の塾に学ぶ。

薩摩藩士密航1865＝16歳：藩校(明倫館)文学寮に通学。藩の新軍に加わり、

薩長同盟・・・1866＝17歳：＜第2次征長戦争＞に長府藩報国隊に参加、奇兵隊に合して山県有朋の指揮下で戦う。

大政奉還・・・1867＝18歳：

明治維新・・・1868＝19歳：栗栖又助より一刀流の目録。左足挫傷し、＜戊辰戦争＞には参加できず。

戊辰戦争終・・・1869＝20歳：報国隊の漢学教授。伏見御親兵兵团に入り、

初の日刊新聞1870＝21歳：＜長州藩脱退騒動＞鎮圧のため、一時帰藩。

廃藩置県・・・1871＝22歳：新陸軍の少佐となり、希典と改名。

東京鎮台、

明治6年政変 1873＝24歳：

名古屋鎮台、陸軍卿伝令使を経て、

初の民間工場1875＝26歳：熊本鎮台歩兵第14連隊隊長心得となり、

三つの反乱・1876＝27歳：*秋月の乱に出動。萩の乱で玉木文之進が自刃し、弟玉木正宜が戦死。

西南戦争・・・1877＝28歳：父が死去。熊本鎮台参謀。西南戦争に参加、軍旗を薩軍に奪われ一生の恥辱とする。

大久保暗殺・1878＝29歳：歩兵第一連隊長。鹿児島県士族の娘と結婚。

琉球処分・・・1879＝30歳：長男勝典が誕生。

・・・1880＝31歳：陸軍歩兵大佐。

明治14年政変1881＝32歳：次男保典が誕生。

岩倉具視没・1883＝34歳：東京鎮台参謀長。

内閣発足・・・1885＝36歳：陸軍少将。歩兵第11旅団長。

帝国大学始・1886＝37歳：川上操六らとドイツに留学、

初の対等条約1888＝39歳：帰国。軍紀確立などに関する報告書を提出し、自ら留学前の放蕩生活と訣別する。

帝国憲法発布1889＝40歳：近衛歩兵第2旅団長。

帝国議会始・1890＝41歳：歩兵第5旅団長。

大本教・・・1892＝43歳：休職となり、歩兵第1旅団長に復帰。

日清戦争始・1894＝45歳：*日清戦争に歩兵第1旅団長(少将)として出征し、旅順口要塞を1日で攻略したが、占領時の大虐殺事件が世界の非難の的となった。

日清戦争終・1895＝46歳：中将・第2師団長として台湾征討、男爵。

白馬会・・・1896＝47歳：母が死去。台湾総督となったが、

子規句歌革新1898＝49歳：統治に失敗して、辞職。第11師団長。

田中正造直訴1901＝52歳：休職し、栃木県狩野村で晴耕雨読。

教科書疑獄・1902＝53歳：予備役。

日比谷公園・1903＝54歳：

日露戦争始・1904＝55歳：日露開戦で起用され、大将・第3軍司令官となる。旅順攻撃を指揮、3回の総攻撃に失敗し、半年の攻囲戦と6万余の死傷者を出したのち、

日露戦争終・1905＝56歳：*陥落させたが、自身も2児を戦死させた。(二〇三高地の激戦)

満鉄発足・・・1906＝57歳：凱旋帰京。軍事参事官、宮内省御用、

韓国反日暴動1907＝58歳：学習院長を兼任し、皇長孫裕仁親王の教育に従事。伯爵。

大逆事件判決1911＝62歳：東伏見宮依仁親王に随行して、渡欧。

明治天皇没・1912＝63歳：*信任が厚かった明治天皇大葬の夜、妻静子とともに自決した。武士道の体現者として神格化された。